

眼にせまってきました。

題字は社宝伝崇徳天皇ご宸筆 勅額の文字を模したものです

宮・内宮「遷御の儀」の特別奉拝の栄 に浴する事が出来、 十月二日第六十二回の神宮式年遷

無上の悦びと感じ

いきました。 ちて辺りは薄墨色の景色へと変貌して だ空は明るく、それから徐々に陽は落 ている次第です。 午後五時、 桟敷の席に著いた頃は未

私の奉拝位置は旧御正宮(この時は

めなかった杉木立の巨木が墨絵の如く トが灯され、そのせいか今迄気にもと ました。 のやや対面となる中列位の位置であり 未だ現正宮)のある東側御敷地の石階 やがて参道をうす明るく照らすライ

乃

別参列員約三百人が参進。 じめ、閣僚八名、神社関係者ほかの特 その後神社本庁の北白川統理ほかの しばらくすると安倍内閣総理大臣は

宮へと入りました。

役員・総代などの供奉員が衣冠姿で正

うとしている日本に強力な活力を与え 民に希望と勇気を与えてくれました。 今回の安倍首相の式年遷宮参列は、 相以来実に八十年ぶりの参列です。 四年の第五十八回式年遷宮浜口雄幸首 列です。総理大臣としての参列は昭和 この遷宮により新しく生まれ変わろ 中でも特筆できるのは安倍総理の参 又

を撫でている事でしょう。 この事により国民は等しく安堵の胸

の約三千人が起立する中、 前には参道南に設けられた特別奉拝席 さて、辺りが夕闇につつまれた六時 皇族代表の

秋篠宮殿下が御正宮へと向かわれまし

思います。(『 』内。) 新報その他の資料の記事に委ねたいと る事の出来ない別世界の事なので神社 ところで、ここからは私には伺い知

御祭文を奏上。 殿階下で新宮への遷御を請い奉る旨の 下祭員らは内院の版に著き、勅使が正 御門下に納めた後、勅使・臨時祭主以 り参進、内院に入りて太玉串を内玉垣 玉串行事所にて勅使、臨時祭主、大宮 勅使・臨時祭主、以下百数十人の奉仕 る静寂を破り朗々と鳴り渡れば、先づ 宜・権禰宜・宮掌・宮掌補・楽長・楽 員は列を整へ、威儀を正して参進する。 師等、奉仕諸員一同齋飯前庭に列立。 宮大宮司・髙城神宮少宮司・以下禰 典長・黒田清子臨時神宮祭主・鷹司神 べて整ったところで勅使の手塚英臣掌 そして正六時の第三鼓の音、森厳た 『午后六時前になると祭庭の弁備す 少宮司、禰宜が両手に太玉串を執

開かれ楽長・楽師らによる厳かな神楽 歌が境内に響き渡った』 続いて大宮司・少宮司により御扉が

た。正しく浄闇の世界に人々は誘われて時少し前に灯りが全て消されまし

います』 単の上を徐ろに新宮へと渡御せられ給院・網垣の御内に入らせられ筵道の布で、 殿を出御、権禰宜二十員の捧持する行 戴せられ給いて、二十年間御鎮座の正 が、私の所までは聞こえませんでした。 神儀は大宮司・少宮司・禰宜十員に奉 にならい「鶏鳴三声」が唱えられました 「出御」を三度奏せられると、畏くも 『定刻八時には階下に進んだ勅使が そして静寂の中、天岩戸開きの故事

> との証しでもあります。 即ち神宮祭祀が「天皇祭祀」であるこ を行わせられたと承ります。この事は ては皇居・神嘉殿南庭にて「遥拝の儀」 この同時刻に天皇陛下におかせられ

て勅使が進んだ。臨時祭主は絹垣の直楽師・警蹕所役の後に神儀の前行とし でした。 たが、実際に拝見する事は適いません らっしゃるのだと感じる事は出来まし に聞き、神様が今お渡りになられてい を踏みしめる浅沓の軽やかな音を間近 り、又神職の歩むざくっざくっと砂利 神楽歌、和琴、楽の音が厳かに響き渡 生寂として声なき中を伶人の奏する後にない。 物持が続き、「御」を中心とする前陣、 後を神儀に供奉、』さらにその後の御 つ御道具が続き、道楽を奏する楽長・ 『遷御の御列は長くて所役の捧げ持

ーっと白い御物が動いていくのが仄見浄闇の中、私の眼には微かにボォ えました。

わせていました。 斉に、極く自然に頭を垂れて、手を合 その時、私達特別奉拝席の人達は一

である。

新宮は、

たとえていえば松のみどり

ませる旨の御祭文を奏上した。 終へられ…勅使が階下で神儀の鎮まり 『八時四十分頃には新宮への入御を

起立し二礼二拍拝手一礼の作法で拝礼 はこれに先立ち、入御後の点灯を待ち 度拝を行って退出。…特別奉拝者一同 を伝へた後、祭員が中重の版に著き八大宮司が勅使に遷御の儀を終へる旨

行されました。 り、第六十二回式年遷宮は恙がなく斎 次の第六十三回迄はまだ二十年もあ 我国に於ける最大にして最高の祭

ります。然し乍らこの二十年というサ

年の遷宮の歴史を解き明かしていく必 くなってくるでしょう。彼等に千三百 予想される優秀な指導者的外国人も多 ジャンルの舵取りにも携わってくると ならぬでしょう。又日本のあらゆる の思考形態の変化も見据えていかねば 齎らす事必定でもありましょう。 イクルは大いなる社会の構造変革をも 人々

古くて新しい思想が充分に威力を発揮 ていかねばならぬのではないかと…。 したと思います。 このような多種多様な問題にも具え さて、今回の遷宮は「常若」という いつ迄も永遠に活力の源として元気

要性も将来でてくると思います。

長を歴任した桜井勝之進先生の記せし されています。 ものです。(学生社・伊勢神宮) を保っている常緑の松は不易の象徴と 以下は、元神宮禰宜・元神社本庁総

ているのである。 葉をおとし去って、あの常緑を維持し 新しいみどりを出しては、ひそかに古 「その不老の松もじつは年々歳々に

ましい意欲の発現であるように、新宮 的な繰りかえしこそが目的なのであ 大神の神威の輝やきを仰ぐ。この定期 うべき新宮を周期的に造営し、そこに ための、みずみずしい松の新芽ともい づくりはこの国自体の根元的な意志表 る。…松の新芽が松自身の生命のたく 示にほかならない。…」 この国の悠久の生命を維持していく

将に千古不易の営みという外にない

宮司 井上千賀司 曾

じいちゃんやおばあちゃんたちは、真剣に戸惑っ

分の子どもとは親子っていうよりも、

何でも話し

合える親友みたいな関係でいたいな」などと笑顔

あるいは真顔で言う親たちが、

もう珍しくも

のような思いであったのかと申しますと…、 と二十年あまり前にまでさかのぼったのです。ど て…、ついでながら、そのときに私の思いは、ざっ 匠お得意の【ぼやき】までが聞こえてまいりまし

あるいは深刻に思い悩んでいる、と言うの なにを戸惑ったり悩んだりしているのか、

そうして番組がすすむにつれ、デビューしたお

と申しますと、

《孫に嫌われずに、

ずっと仲良く

なくなっていたなあ…、

というふうな記憶でし

錦の、

## 『尊き生命への想い その八』

### 靖 匡 (作家)

うです。 年の我が国でもって流行っている言いまわしだそ に、ちょっとした照れくささなども含めて…、近 た、とうの御本人様方にすれば大きな歓喜ととも つけて、周囲の方々からは祝福の意を込めて、 《おばあちゃんデビュー》という言葉を御存知で 皆さんは、 初めてのお孫さんを授かった折りに 《おじいちゃんデビュー》 あるい ま は

ませんでした。私は、まったくと言っていいほど お構いなく、音声だけは耳に入ってきます。 そらすのが精いっぱいでしたけど、そんな私には を切ったりできませんから、せめて画面から目を て、チャンネルを変えたり、 ておりますが、いくら馴染みの店だからといっ テレビを観ない生活を、もう十年あまりも過ごし あげてきたことは、けっして酔いのせいではあり ことですが、ふと、とても情けない気持ちがこみ きに、そこのテレビに流れたニュースで見聞した 私にすれば、 馴染みの居酒屋で呑みはじめたと あまつさえスイッチ

伊

大流行なのだそうです。 十代【なかには、自分の孫と上手くつき合ってい 教室》などを開業する人々が増殖しており、 り援助する《上手く孫とつき合うカウンセリング 座》が大盛況で、あるいは個人的に相談にの をサポートすべく《お孫さんとの付き合い方講 分からない》とのことだとか…。さらには、 るという方々もいるそうですが」で、 カウンセラーを名のる人々の多くが三十代から四 過ごしてゆくための、その接し方や付き合い方が いずれもが その それ

です。

りせえよ」などと、さも情けなさそうにぼやく師 ちゃのう、せいぜい長生きせえよ」とか「しっか 浮かんできました。つづいて、「ほんま幸せなやっ ない漫才師の一人」師匠の、 を怒らせる人生幸朗【私が、いまだ敬愛してやま かしよるかあっ、このバカもんどもがあっ」と肩 であろう瞬間につ、なんちゅう巫山戯たことをぬ つでありつ、もちろん慶事のうちにも最高の一つ 授かるということは人生において大切な節目 うと頑張っていた私の脳裏に、ふと…、「初孫を 箸をはたらかせながら、なにか他のことを考えよ そんな音声ばかりを聞きながら一杯やり、 あの独特の声と姿が 肴に 0

> たことをも、…、徒然なるままに思い出したもの られている方々が、さほど珍しくもなくなってい 付け、君付け、でお呼びになり、しかも丁寧語ど ころか敬語まがいの言葉づかいでもって話しかけ た。また、 御自身のお孫さんにむかって、 ちゃん

われたくもないわい」 なんぼのもんやねん」「さも賢げえに、人の家の ことを、とやかく言うな。第一、お前なんかに言 「だから何だって言うんだ、偉そうに」 「お 前

あらためて思い出しては、どうぞ、あなた方の御 れたのだよ』という、そんな当たり前の自負心を、 父母となる、 えてあげられるのは、まさに、いま現在、ついに ながら、人間として立派に生き抜いてゆく力を伝 期待するほかないのでしょう。けれど、そんな若 国を興隆させる力は、これから産まれ育つ人々に さん、読んでください。たしかに、ますます我が 文句ですが】」を御容赦いただきまして、「まあ、 かり… 【この言いまわしも、じつは師匠の決まり て、 ついに、お前という新しくも有り難い生命が産ま た、いわゆる大人【御年寄り】の皆さんなのです。 い人々に対して、いかなる艱難辛苦をも乗り越え んのお叱りの声の数々も浮かんできますが、あえ 『わたしたちが、しっかり生きてきたからこそ、 こうして文字で書き表すうちには、そんな皆さ あくまで私一個人の「わがまま勝手なことば 祖父母あるいは曾祖父母ともなられ

· 2 ·

乃

伊

提供:神社新報社 垣で覆われて新しい御正殿 御神域を、御神体は白 凛とした空気が張り詰める 本殿や拝殿の御屋根替えや を有する祭祀であります。 三百年もの長い歴史と伝統 統天皇の御代まで遡り、 へと遷られました。 れ、松明と提灯を照ら この式年遷宮の起源は持 神社の遷宮(座)は

殿などの御用材は神宮の摂 模なものです。また、旧社 幣殿など六十五の殿舎、字 の神宮における遷宮は、 有効に活用されます。 か、全国の神社に下賜され 社・末社に再利用されるほ 社殿、鳥居、御垣、宝殿外 宮・外宮の両宮の御正殿を 新築を意味しますが、伊勢 治橋も建て替えられる大規 十四ある別宮の御 内

り夫々、天皇陛下の勅使と

日午後八時に、豊受大神宮 (外宮) は五日午後八時よ

(内宮) は十月一

式年遷宮の遷御の儀が、

して手塚英臣掌典長が参向

黒田清子臨時神宮祭主

鷹司尚武神宮大

口

」の鶏鳴三声で出御さ 外宮では「カケ

から始まり、

遷御の儀を経

が参列する中、内宮では「カ

今回の第六十二回式年遷

平成十七年の山口祭

宮のお白石持ち行事へ参加

しました。炎天下の中、

約三千人の特別奉拝者

奉仕のもと斎行されまし 宮司以下百数十人の祭員が

L

い絹

してきました。 定を仰ぎ、日時などを決定 及ぶ祭典や行事が行われま 祭典は、天皇陛下より御治 す。そのうち主要な十二 て御神楽に至るまで三十に

催のお白石持ち行事へ参加 興玉神社での浜参宮を行 社総代や崇敬者も多く参加 を中心に、全国民が参加で 八月九日に愛媛県神社庁主 しております。当社では、 く知られており、全国の神 きる行事であることから広 白石行事」は伊勢の地元民 一連の行事の中でも、 古式に倣い、先ず二見 外宮へ参拝した後に内 一お

> しい正殿の木の香芳しく ない御垣内へと進み、真新 の後は立ち入ることのでき 手渡され、そこから御遷宮 人ひとりに白布とお白石を 橋を渡り参道を進むと、 でへと曳き納め、次に宇治 おはらい町から宇治橋前ま 装束に身を包み、 奉曳車を

> > できる行事でありました。

大祭儀であることが実感

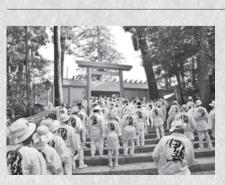
国民挙って成し遂げる

ことのない伝統が継承さ

しました。今も昔も変わる 清々しい御正殿の側に奉献







気持ちで明日に向かって ます。古くて新しいという ないもの」の一つであり、 えになられております。 く心を、伊勢の神々はお教 唯一無二の日本文化であり 式年遷宮は「変わることの しょう。悠久の時を伝える の答えはそう多くはないで は何か」と問われると、そ 変わる現代社会において、 「常若の精神」、常に若 「変わることのないものと 日々、目まぐるしく移り 第20号

す。

致しておりますほか、神社においても受けることができま

斎行後、各町内の氏子総代さんの御協力を賜り、各戸に頒布

例年、十一月二十三日の新嘗祭並びに神宮大麻頒布始祭を

平成25年12月1日

合もございます。神棚を設けない祀り方もありますので、お

また、昨今の住宅事情により神棚を設けることが難しい場

気軽にお問い合わせください。

迎え、一年間の

家内安全をお祈りしましょう。

## 神神宮大麻麻 をお祀りしましょう

平成二十六年

の総氏神様と崇 の新春を、日本

宮のおふだ

め祀る伊勢の神

宮大麻」と、地 元の氏神様であ

る当社の「神社

大麻」とともに



### 拝をお待ち申しております。 です。当日、受付できますので、多数のご参 し上げます。 の大祓式を次の通り行いますので、御案内申 今年の災いを払い清め、新年を迎える恒例 参列に関しては、事前のお申し込みは不要 年越の大祓式

とき:十二月三十一日(火) 場所:新門内斎場にて 午後三時より



きます。 効に活用させて戴 ました。神社で有 雄氏より奉納戴き 常務総代 小野昭 総代 伊藤重利氏、 座卓二台を、氏子

ました。



納 御

奉





このたび、当社の御神木古材を利用した

御多忙の中、 お力添えを賜りました各団

体の皆様に厚く御礼を申し上げ、御報告致

します。



御





御 礼

例大祭前の境内清掃奉仕 御旅所管理並びに清掃奉仕 神戸長寿会の皆様 御旅所管理委員会の皆様

神門前大楠注連縄奉製 ボーイスカウト西条第六団の皆様 神拝老人会の皆様

大町福寿会の皆様

例大祭境内保全整備作業奉仕 年番(玉津地区)の皆様 神戸長寿会の皆様

下福古墳周辺清掃奉仕 西條史談会有志の皆様

# 平成二十六年 新春ご案

### 元旦より

祈禱

初

(「檮) らり (人) さま、 申引と、 や受けることができます。 午前零時の拝殿開扉とともに祈禱

殿された方から行います。) 祈禱のお申し込みは、神門を入って左側の授与所で受け付けております。受付後、拝殿へ昇殿され、申込すに昇殿されてください。(受付後、早とがに昇殿された方から行います。)

さい。
さい。
をいますので、祈禱順位が前後する
がいますので、祈禱順位が前後する

田宮流居合術奉納



### 午前八時頃より

ど、企業や団体の祈禱も承っており

商売繁盛、社運隆昌、

工事安全な

会社団体祈禱

市無形文化財の指定をうけております伝統の居合術です。

早めに昇殿されて書類をお渡しくだます。御了承ください。(受付後、込みの方はお待ち戴くことが御座い

先致しておりますので、

当日お申し

御希望の時間帯は、先約の方を優

## 三日

## 荒川獅子舞奉納



### 午前十時より

です。
「愛い「なぶり子」の舞も必見福の縁起よい獅子舞です。

## 初天神祭·筆供養祭

## とき:一月二十五日(土)

月命日にあたる二十五日に、学業成就と学問と文筆に優れた平安時代の貴人、学問と文筆に優れた平安時代の貴人、

書道上達をお祈り致しております。



養祭の後、学 業成就特別祈 業成就特別祈 とができます ので、御希望 の方は当日お

### お願い

書道教室や学校授業などで使用した古 事前に社務所にお届け戴くか、当日ご持 参戴けましたら幸いです。筆供養祭でお 参戴けましたら幸いです。筆供養祭でお がき上げし、後日、天満宮裏にある筆塚

また、筆供

乃

し上げます。

た関係諸各位に、厚く御礼申 例大祭に御尽力を賜りまし

ません。 ければなり 大切にしな でもあり、















本年は玉津地区(大祭委員

矢野幸雄常務総代)が年





番となり、斎行できました。

身の清浄を図りました。 式を執り行い、国土安泰、心 六月三十日、水無月の大祓



### わいました。 祭を行い、多数の参拝者で賑 月二十二日、加茂川原で夏越 旧暦六月十五日にあたる七



会館で開会し、例大祭を の氏子総代総会を伊曽乃

九月一日、半期に一度

中心に協議しました。

ました。 中村晋也氏が当社を参拝され す「木花開耶姫命像」の作者、 八月二十三日、拝殿前に坐

近年、樹勢が衰えている神

性剤の投与や、継続治療の計 日、樹木医指導のもと行い、活 門前の大楠の診断を七月十一

画をたてました。当社の象徴



を遥拝し奉祝の洵を捧げ 日午後八時から内宮を 儀の時刻に併せ、十月二 ました。 五日午後八時からは外宮 神宮式年遷宮の遷御の



響により十

台風の影





りました ら雨天とな が、翌日の 五日午後か 天候は回復

町内を御神輿が巡幸致しま 日、例大祭を斎行し、氏子 十月十五日・十六日の両







式を斎行しました。 十月五日、例大祭の事始 五日

朔日祭並厄除年賀祭 初天神祭·筆供養祭

日

朔 日 祭 祭

月次祭 紀元祭

中祭

春の氏子総代総会

(後日通知)

春季皇霊祭遥拝式

午午午午午前九九二十時時時

五日

左儀長

(とうと

神

日

昭和天皇遥拝式

# (平成二十五年十二月~平成二十六年五月)

紀

祭

华成三十六年

恒例祭典のご祭内

かつて、

祝祭日の

中

二月一日 十三日 十五日 月次祭 すす払 朔日祭 い神事

中祭

乃

二十三日

天長祭

古神札焼納祭

平成一

十六年

月

午午午午午午午 後後前前前前前 五三十十十九十 時時時時時

厳粛に斎行されており 皇陛下の勅使が参向し 祀る橿原神宮では、天 たります。神武天皇を 在は建国記念の日にあ 斎行される祭典で、 れていた紀元節の日に の四大節として定めら

当社では、

橿原神宮

元始祭 除被式 中中祭祭 午後三時半

午午午午午午午 前前前前前後前前 十十十九九一十九 時時時時時時時時 祭典の後は、小豆粥と 詞の奏上を行います。 紅白饅頭の授与も行っ

> 神社会館において「建 ております。 のご参拝をお待ち致し ておりますので、 また午後から、 多数 石鎚

現

う、ご案内申し上げま 参加くださいますよ ります。こちらも、 祝大会」も予定してお 国記念の日東予地区奉

紀元祭

二月十七日(月)

午前十時より

いて殿内に昇殿して祝 と皇居の遥拝をし、続

||月十||日(祝·火) 午前九時より



\*詳細は現在、 今暫くお待ち 決定次第、ホ 協議中です。 実行委員会で ください。 でお知らせ致 ームページ等 しますので、



石鎚神社会館 す。 子崇敬者多数のご参拝 をお待ちしておりま 祭典でもあります。 新嘗祭」と対となる

氏



五月

朔日祭

Ŧī.

月 次 祭 祭

日曜日

開運春祭 朔日祭

昭和祭並崇敬者大祭

大祭

午午午午前前前前九九九九時時時時





とき:四月六日(日)

る大祭です。十一月の

商業繁栄を祈

### ます。 た方には、先着順で福 木授与・福引がござい また、ご参拝を戴

年の五穀豊穣、

豊

### どがあります。 納」、「子供相撲奉納」、 よる「献謡」奉仕のほ 会西条支部による「献 祭典では、裏千家淡交 「奉納のどじまん」な 午前九時からの殿中 境内では「茶筅供 「子供だんじり奉 市内謡曲団体に

### 祈 年 祭



### 開運春祭

乃

### 【平成26年の厄年(数え年)】

男	厄	25歳	平成2年生まれ	うま		
	前厄	41歳	昭和49年生まれ	<b>ک</b> 5		
性	本 厄	42歳	昭和48年生まれ	うし		
	後厄	43歳	昭和47年生まれ	ねずみ		
女	厄	19歳	平成8年生まれ	ねずみ		
	前厄	32歳	昭和58年生まれ	いのしし		
	本 厄	33歳	昭和57年生まれ	いぬ		
性	後 厄	34歳	昭和56年生まれ	<b>උ</b>		
	厄	37歳	昭和53年生まれ	うま		

伊

### 平成26年 在智夷 (数え年)

【   版LO 中 中央						
還 暦	61歳	昭和29年生まれ	うま			
古 稀	70歳	昭和20年生まれ	<u>ک</u>			
喜寿	77歳	昭和13年生まれ	55			
傘 寿	80歳	昭和10年生まれ	いのしし			
米 寿	88歳	昭和2年生まれ	うさぎ			
卒 寿	90歳	大正14年生まれ	うし			
白 寿	99歳	大正5年生まれ	たつ			
上寿	100歳	大正4年生まれ	うさぎ			

け、成就をお願 いしませんかっ



書き、神社の絵

いをこの絵馬に

みなさんの願

馬掛けに願いと

一緒に絵馬をか

れています。

小槌の真ん中には干支である午が描か

た絵馬を授与しております。 縁起のいい「打ち出の小槌」の形をし

「絵馬」

財布や鞄など、 を過ごす事がで と輝かしい一年 きるでしょう。 ていると、きっ いつも身につけ

金干支守り

年間を通じて

新授与品の紹介

受け付けております。

で表現しています。 来年の干支である午を、輝かしい金色

携帯電話やお

なり、御霊が新しく蘇るという一年でし

今年は神様が新しい御社殿にお移りに

大社の本殿遷座祭が執り行われました。 の神宮の式年遷宮、六十年に一度の出雲

平成二十五年は、二十年に一度の伊勢

勢いよく日本が駆け抜けるようになって なったのではないでしょうか。 いただきたいと思っています。 クの開催も決まり、来年は午のように、 目にあたる午年になります。 活気付くようにも感じます。 れ、日本国民全員が清々しい気持ちに 内宮の御遷宮当日はテレビ中継もさ 七年後の二〇二〇年は東京オリンピッ 平成二十六年は、十二支でいうと七番 今年の遷宮によってこれからの日本が









発 行 写真協力 ハルキフォート

伊曽乃神社社務所

〒793-005 西条市中野甲一六四九 話 〇八九七-五五-二一四二

ホームページアドレス http://www.isonojinja.or.jp/ FAX ○八九七-五六-四七六1

E-メール info@isonojinja.or.jp

. 8 .